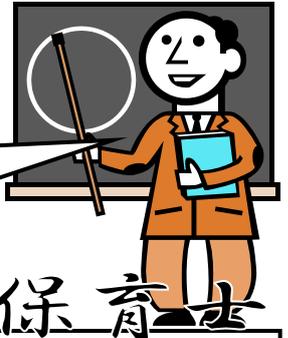




このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

「社会」はどんな仕事で生かされるの？



それぞれの教科で学ぶことがどんな職業で生かされるのかについて書かれた本があります。その名も『5教科が仕事につながる！（ぺりかん社）』です。その中からいくつか紹介しましょう。

保育士



『保育士』という仕事は、子どもを見守るプロでなければ務まりません。だからこそ保育士になる人は、初めに大学や専門学校でプロになるための勉強をします。その勉強の中心となるのは、まず一つに、子どもの心身の発達に合わせた見守り方を学ぶこと。そしてもう一つが、子どもを取り巻く社会のあり方を理解することです。たとえば、あなたは、保育園にどんな子どもが通うか知っていますか？保育園とは、両親が共働きなどで一日中保育ができない場合に、子どもを預かってくれる所です。今の社会ではそういう家庭が増えているわけですが、その中で、親子がどんな悩みをもっているか想像ができますか？保育士が向き合うのは、まさにそうした親や子どもたちなのです。

今の日本は「子どもがみんな健やかに暮らせる社会」を目指していて、その考えは『児童憲章』や『子どもの権利条約』にも記されています。保育士という職業はその約束を果たすという大きな役割を、この社会からたくされた専門家なのです。

社会以外では何が大切ですか？

ちょっとした表情やしぐさから、人の気持ちを読み取ろうとする姿勢が欠かせません。また、図工・音楽・ダンス・朗読など、子どもと一緒に楽しめる得意分野があると、保育士になってから生かされますね。



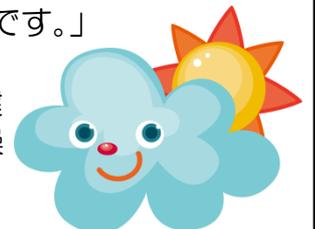
飛行機パイロット

『パイロット』の方は、飛行ルートに関わる地形の情報を、前もって地図帳で調べておくそうです。それでは、お話を聞いてみましょう。

「安全な飛行ルートについては、フライト中も航空管制官から無線で情報が入ります。ですが、万が一、情報に行き違いがあっても飛行機が山をかすめたりしないよう、私たちも地図帳を見てあらかじめ地形をつかんでおくんです。地図帳はフライトにも持って行きます。お客様からキャビンアテンダントを通して、今飛んでいる場所の地名や、山や川の名前を尋ねられることもあるからです。私が知らないものであれば、地図帳で調べてお伝えしています。お客様もすごく喜んでくれますよ。家族連れから一人の旅行者まで、本当にいろいろな方がいらっしやいます。そのいろいろな人生があるお客様を、こんなにもたくさんの飛行機で運んでいく。そう思うと、あらためてすごいことだな、と感じられるんです。」

社会以外では何が大切ですか？

パイロットの採用選考で、さまざまな身体検査も実施されるので、健康や体力については今から気をつけておきましょう。また、飛行機の操縦では気象やメカの知識、つまり理科の知識も必要になります。



片山隆（かたやまたかし）さん
航空大学校を卒業後日本航空
に入社。現在ジャンボジェット
機 B747 - 400 のパイロット。

